

平成23年度終了プロジェクト研究成果ダイジェスト

【研究代表者名：角屋重樹】

研究課題名	学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究
実施期間	平成21～23年度
最終的な達成目標	学校における持続可能な発展のための教育の定着と充実にむけて、ESDの成立要件、つまり、構成概念や学習指導で重視する能力・態度、学習指導の在り方（単元開発や教材開発）などを明らかにし、ESDの指導に参考となる資料（事例を含む）を提供する。
研究の方法	<p>ESDの成立要件（構成概念、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度、学習指導の在り方など）を明らかにするため、</p> <p>(1) (理論研究) ESDに関連する文献や実践事例などから、ESDの成立要件を抽出する。</p> <p>(2) (実践研究) 教科等の実践事例などから、ESDの学習指導を構想し展開する方法を確定する。</p> <p>(3) (文献研究) ESDの成立要件やESD固有の成立要件を明らかにするため、ESDに関する外国の情報を収集し、整理する。</p>
主な事実発見	<p>I ESDの成立要件（構成概念、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度、学習指導の在り方など）を明らかにした。</p> <p>(1) 【構成概念】：「多様性」「相互性」「有限性」「公平性」「連携性」「責任性」</p> <p>(2) 【ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度】</p> <p>①批判的に考える力、②未来像を予測して計画を立てる力、③多面的、総合的に考える力、④コミュニケーションを行う力、⑤他者と協力する態度、⑥つながりを尊重する態度、⑦進んで参加する態度</p> <p>(3) 【学習指導の在り方】</p> <p>①教材のつながり、②人のつながり、③能力・態度のつながり</p> <p>II ESD固有の成立要件を明確にした。</p> <p>「有限性」という概念、「未来像を予測して計画を立てる力」や「自己制御能力」などの能力を顕在化させるとともに、実践の在り方を創出した。</p> <p>III 外国のESDに関する文献をもとに、ESDの成立要件や固有の成立要件を傍証した。</p>
教育政策への貢献	<p>本研究で明らかにした知見、つまり、ESDの成立要件や固有の成立要件、及びそれらに基づく事例などを報告した。</p> <p>① 平成23年3月に中間報告書を作成</p> <p>② 平成24年3月に最終報告書、抜粋版、リーフレットを作成</p> <p>これらの報告書から、</p> <p>① 平成20年1月の中央教育審議会の答申、教育振興基本計画で強く求められているESDを学校教育において構想し展開できるようにしたこと</p> <p>② ESDの成立要件や固有の成立要件を明らかにし、教科以外の学校教育活動でESDを導入できるようにしたこと、</p> <p>が教育政策に寄与できると考えられる。</p>